

1 教科について

国 語

昨年度の課題

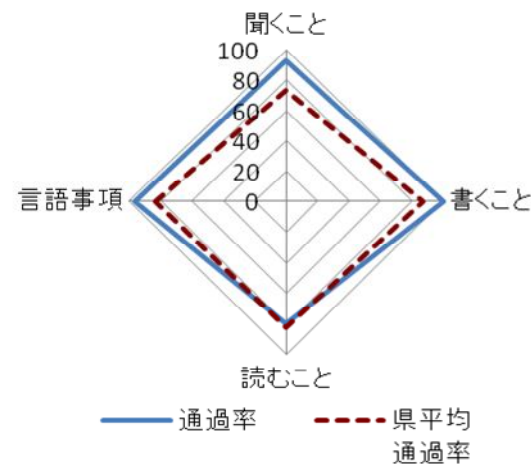
- ① 文章の中における主語と述語の関係について十分理解できていない。(言 語)
- ② 書かれている文全体の内容を的確に読み取りながら文の意味を考え、適切な語を使う力が弱い。(読むこと)
- ③ 段落相互の関係を考え、文章を正しく読むことを求める問題の通過率が低い。指示語が指し示す言葉を理解できていない。(読むこと)

昨年度の課題を受けて
具体的に取り組んだ事項

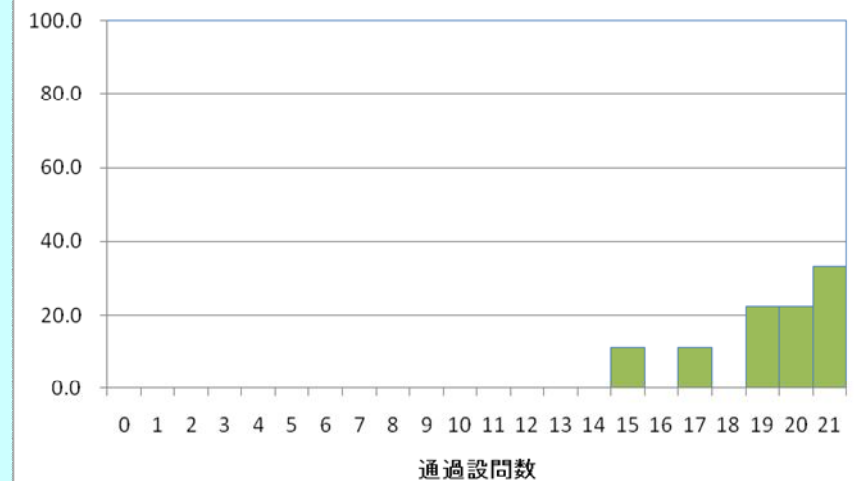
- ① 主語、述語、修飾語など文の構成について、プリント学習等の積み重ね。短文作りや問答ゲーム等を通じ、主語を意識させる指導。
- ② 文や語句の文脈上の意味を考えさせ、情景や登場人物の心情を豊かに想像させる等の指導の充実。
- ③ 説明文において、段落構成を考え、まとまりごとに要点をまとめさせ、全体の意味理解についての指導。まとめている言葉を見つけさせるなど、キーワードを見つけ出させる指導。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 91.5% 県平均 82.3%

領域別平均通過率(国語)



通過設問数ごとの児童割合(国語)

重点課題 ◎:「基礎・基本」定着状況調査
◇:全国学力・学習状況調査

- ◎◇人物の会話の内容から場面の様子をとらえることや登場人物を相互に関係づけて読むことができない。(読むこと)
- ◇ 物語全体の構成の効果をとらえたり、読んで思ったことや考えたことを、理由を明確にしてまとめて書くことができない。(読むこと)
- ◎ 段落相互の関係を考え、文章を正しく読むことができていない。(読むこと)

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

- ① 物語全体または場面全体のおおまかな展開をとらえさせた上で、登場人物の性格、行動、会話、他の人物との関係、情景描写、心情等を根拠となる表現を基にイメージさせる指導を全学年で行う。
- ② 目的に応じて、様々な本や文章を読み、考えたことを発表し合う活動を単元や単元の一部で指導する。
- ③ 説明文において、中心となる語や文を用いて要点をまとめたり小見出しをつけたりして内容を整理するなどの指導を行う。

来年度の目標値

<「基礎・基本」定着状況調査>

- 「読むこと」の通過率を85%以上にする。

指導方法等の改善計画について

算 数

昨年度の課題

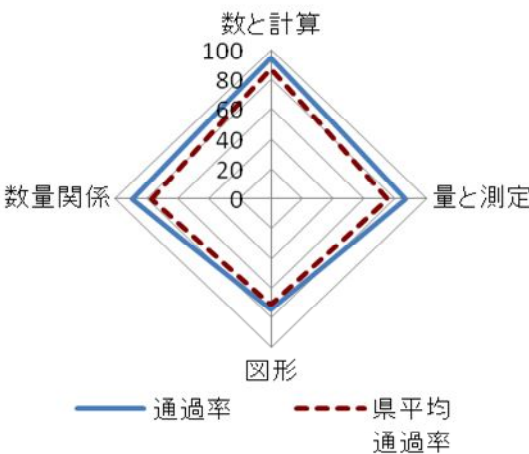
- ① 単位分数の幾つ分という考え方が定着していない。(数と計算・知識理解)
- ② 除法の性質を用いた計算の考え方が身についていない。(数と計算・考え方)
- ③ 生活の中で単位を意識して量を見るなどの量感が育っておらず、かさや面積などの単位が定着していない。(量と測定・知識理解)

昨年度の課題を受けて
具体的に取り組んだ事項

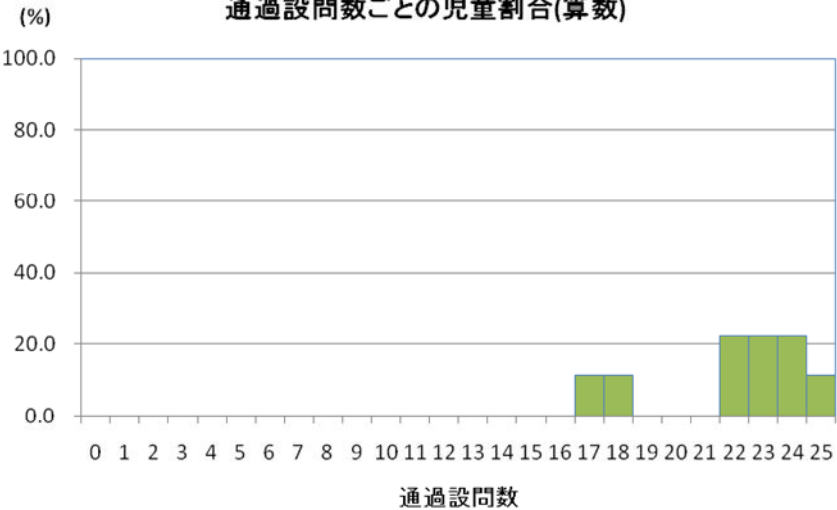
- ① 「 $\frac{1}{9}$ が()個」と「()が7個」など、単位分数を両面から意識させるなど分数の大きさを考える指導。
- ② 低学年から、計算の方法を整理して考えさせるなど、数学的思考を積み上げていくように全職員が共通認識に立った。計算の仕方をノートに書いてまとめさせるなど、ていねいな指導。
- ③ ペットボトルや空き缶などを使ってかさや面積を学習したり、教科書や新聞紙などを使って面積を学習したりするなど、量感を育てるために身近な具体物を使った学習。

「基礎・基本」定着状況調査通過率 学校平均 88.0% 県平均 79.0%

領域別平均通過率(算数)



通過設問数ごとの児童割合(算数)



重点課題 ◎:「基礎・基本」定着状況調査
◇:全国学力・学習状況調査

- ◎◇図形や立体の定義、性質を理解し、それを利用することができない。(図形・考え方)
- ◇ 円の面積の求め方について理解していない。(図形・理解)
- ◇ 除法の意味や分数の意味について理解していない。(数と計算・理解)

重点課題に対応した改善する指導内容及び方法

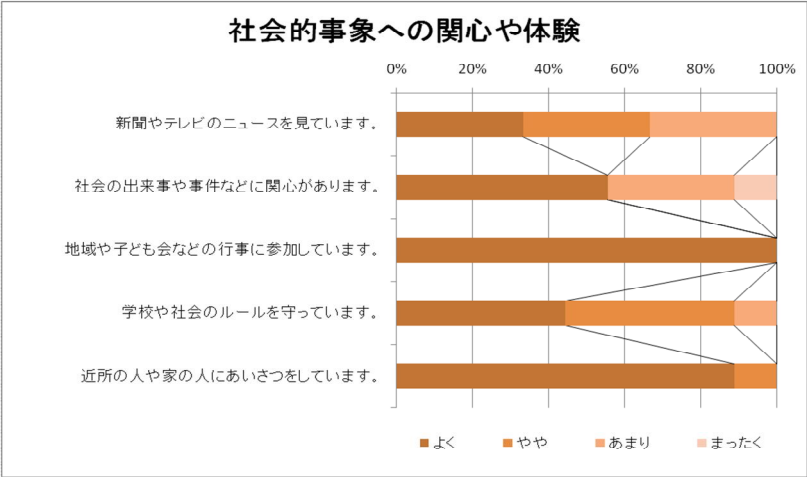
- ① 作業的・体験的な活動を通して、基本的な平面図形の性質を見出し理解できるようにする。また、定義をもとに作図する活動を数多く取り入れる。
- ② 基本的な平面図形の求積では、既習の求積可能な図形に置き換えたり面積の大きさに見積もりが持てるように指導する。
- ③ 等分により商が1より小さくなる場合、数量を図に表す活動を取り入れ数量関係を考え演算を判断させるとともに、商が分数で表せることを視覚的に理解させる。

来年度の目標値

- <「基礎・基本」定着状況調査>
○ 「図形」の通過率を85%以上にする。

2 質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：学校質問紙調査，児童質問紙調査）（全国学力・学習状況調査：学校質問紙，児童質問紙）

(1) 生活・学習

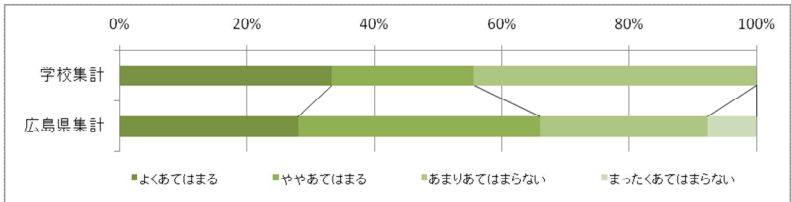


改善したい点（◎「基礎・基本」，◇「全国」）	今後の具体的な取組の内容
◎ 地域行事等に参加し，あいさつはできるが，新聞やニュース，社会の出来事や事件に関心が薄い。	・ 学年に応じて社会への関心に差がある。学級経営を進める上で，新聞記事を取り上げたり，身近なことを社会現象の一つとして一般化したりして，ニュースにつなぐ活動が重要となる。
◇ 新聞やニュースに関心を持っているが，家族の人と学校の出来事について話している児童の割合がやや少ない。	・ 地域の状況（例えば高齢化，過疎化，伝統文化の継承等）をよりよく解決する事例を取り上げ，家庭でも話し合いの場面を設けるよう指導する。

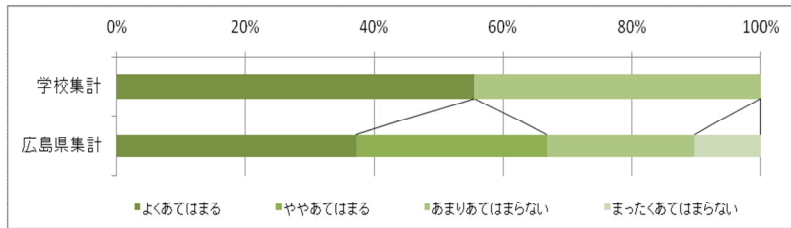
来年度の目標値	・ 社会の出来事や事象などに関心がある児童の割合 70%以上をめざす。
---------	-------------------------------------

(2) 教科

国語の授業では，文章を読んだり書いたりするとき，または，話したり聞いたりするとき，「だれが」「いつ」「どこで」「何を」「なぜそうしたのか」「どのように」について注意しています。



算数の授業では，文章を式で表したり，式にあてはまる問題を作ったりすることが好きです。



	児童の回答と学校の指導についての課題（◎「基礎・基本」，◇「全国」）	授業改善の方向性や具体的な取組
国語	◎ 文章を読んだり書いたりする際，全体や部分の大まかな状況を読み取ったり，表したりする視点を持たない児童が多い。 ◇ 国語Bのような長い文章を読むのは難しく，時間が足りないと感じる児童が多くおり，目的や必要に応じて読み取ることを苦手としている。	国語の児童の実態が反映している。学び手としての児童に，その学び方を次の点で指導する必要がある。 ・ 文章全体や部分を大まかに把握し表現するために「だれが」「いつ」「どこで」「何を」「なぜそうしたのか」「どのように」という読解や表現の視点を持って，対象全体を大つかみにとらえさせる。 ・ 目的や必要性を自覚させ，活動のゴールイメージを持たせ，読む活動を全体の構成や展開と，特定の叙述に着目させることを反復的に繰り返す。
算数	◎ 立式をしたり式を読んだり，式の間を文章にすることを好む児童の割合が低い。 ◎ 友だちや先生のかえや解き方と自分のものとを比較することを意識している児童の割合がやや低い。	・ 立式をするために必要な問題場面の状況把握，問題の意味，解決に向けた数学的な考え方の駆使の結果が，式という単純な形で表される。これは単に答えの正誤をねらいとするものではなく，その思考過程を表している。互いの式を互いに読み合い，立式過程を追求する授業を進めていく。 ・ 問題解決のために，図や表，操作できる教材等を使ったりミニホワイトボードに自分の考えを表し，他と関係づけたりする中で，視覚的・操作的に比較できるようにする。

来年度の目標値	・ 読解の視点をもって文章を読もうとする児童（ややも含む）児童80%以上をめざす。 ・ 文章を式で表したり，立式することを好む児童80%以上をめざす。
---------	--

指導改善のための実施スケジュール

